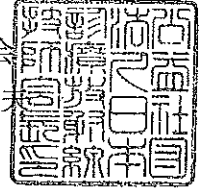


日放技発 第382号
平成29年6月19日

厚生労働省
保険局長 鈴木康裕 殿

公益社団法人
日本診療放射線技師会
会長 中澤靖夫



平成30年度診療報酬改定に関する要望書

平素より本会の活動に格別のご理解、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本会は国民に対する医療安全の確保、医療技術を適切に提供するための環境整備、がん対策基本法にも十分に対応すべく疾患の早期発見、早期治療に寄与する専門技術の向上・医療安全への推進を行っております。

また、今年度におきましても医療現場の実態調査を実施、集約を行っております。この実態調査の結果を踏まえ、下記の事項について要望いたしますので、何卒ご高配賜りますようお願い申し上げます。

要 望

1. 患者にとって安全・安心な医療技術を提供するために、放射線領域で取り組んでる診療放射線技師の医療機器安全管理・画像精度管理・放射線被ばく管理・感染防止対策についての評価を充実されたい。
2. 超高齢社会が進む中で医療機関における病棟X線撮影が増加しつつある。また、介護施設におけるX線撮影も増加しつつある。このような新しい環境に対応できる医療技術提供体制の強化をされたい。
3. 効果的・機能的な医療の実現のためには、診療放射線技師がその専門機能を最大限に発揮することが重要なことから、必要な分野・領域において診療放射線技師の配置を充実させる等、体制強化につながる評価を拡充されたい。